

# NEWS RELEASE

<<http://www.takara-bio.co.jp>>

平成26年7月3日

T B 1 4 - 0 4 9 1

## 経済産業省「再生医療の産業化に向けた 評価基盤技術開発事業」委託契約締結のお知らせ

タカラバイオ株式会社は、経済産業省の平成26年度「再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業(再生医療等の産業化に向けた評価手法等の開発)」に採択され、この度、同省と本事業に関して委託契約を締結しましたのでお知らせします。

本事業は、再生医療等製品等の優れた技術シーズの製品化を促進するべく、承認審査や適合性評価等において必要な評価手法の開発を行うことを目的としています。当社は、本事業において、TCR 遺伝子治療をモデルとして、遺伝子改変した T 細胞およびその原材料の製造所や製造方法を変更する際の同等性を評価するための手法や細胞の輸送条件が品質に与える影響を評価するための手法を開発いたします。

### 【委託概要】

事業名	平成26年度「再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業(再生医療等の産業化に向けた評価手法等の開発)」
期間	平成26年7月1日～平成27年3月31日
当社への委託金額	上限49,945,248円(税込)
参考	<a href="http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/saitaku/s140509002.html">http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/saitaku/s140509002.html</a>

当社は、本事業を通じて、TCR 遺伝子治療などの臨床開発プロジェクトの推進につなげてまいります。

### 当資料取り扱い上の注意点

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

## <参考資料>

### **【語句説明】**

#### **再生医療等製品**

再生医療は、ヒトの細胞・組織を取得・加工し移植することで、損傷を受けた生体機能を回復させる医療です。ここで移植される、疾患の治療を目的とした細胞を再生医療等製品といいます。

#### **TCR 遺伝子治療**

TCR 遺伝子治療は、がん細胞から採取したリンパ球に、がん細胞を特異的に認識する TCR 遺伝子を体外で導入し、培養によって増殖させた後に輸注により患者に戻す治療です。TCR 遺伝子が導入されたリンパ球が、患者の体内において、がん細胞を特異的に認識して攻撃し、消滅させることによりがんを治療します。